

今週（8月3日から8月7日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き邦銀業態による資金調達ニーズは強く、出合いレート水準は0.977～0.978%程度で安定的に推移した。5日(水)、6日(木)には試し取りが実施されたことから、付利金利を上回る水準での出合いも一部見られた。

ターム物に関して、1M物は1.05～1.10%程度で先週と同水準で推移した。3M物は一部1.25%程度での引き合いが見られたが、期越えかつ、10月の日銀金融政策決定会合を超える期間となるため資金の出し手が消極的で案件に乏しい展開となった。

日銀当座預金残高は、3日(月)に430兆円台からスタートした。4日(火)には円買いドル売りの為替介入が実施された可能性からか、418兆円台に減少した。5日(水)も国債発行等の要因により415兆円台に減少したものの、6日(木)には、財政要因等の払いを受け418兆円台に増加した。7日(金)は419兆円程度の着地となった。

●債券レボ市場

今週の債券レボ市場GC T/N物の出合い水準は、1.005～1.01%で推移した。参加者のしっかりとしたoffer姿勢が見られ、週を通して高めのレートで安定して推移した。

SC取引の個別銘柄では、2Y470～486回、5Y170～186回、10Y360～383回、20Y180～197回、30Y70～91回、40Y13～18回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、6Mゾーンと1Yゾーンが軟調に推移した。

6日に実施された6M物の入札は強めの結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

7日に実施された3M物入札は無難な結果となり、セカンダリーでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、建設、鉄鋼、小売等複数の業態で大型発行が見られた。

市場残高は25兆円台後半で落ち着いて推移している。

発行レートは、期間1カ月程度の短い案件では落ち着いた地合いが継続しているものの、9月利上げ観測が高まったことから期間が長い案件についてはより一層のばらつきが生じた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レボレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/3 (月)	63,754.90	2.820	156.50	0.977	1.000	4,300,200
8/4 (火)	63,957.53	2.845	157.48	0.978	1.000	4,188,500
8/5 (水)	66,300.44	2.805	157.54	0.978	1.000	4,155,000
8/6 (木)	65,683.26	2.760	157.73	0.980	1.000	4,183,000
8/7 (金)	65,606.71	2.795	158.56	0.977	1.000	4,190,300

翌週（8月10日から8月14日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/10 (月)	金融政策決定会合における主な意見(7月30・31日分,日銀 8:50) 3月の貸出先別貸出金(四半期調査,日銀 8:50) 7月の貸出・預金動向(日銀 8:50) 6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50)		
8/11 (火)	山の日		
8/12 (水)	7月のマネースtock(日銀 8:50)	10年物連物 8/13発行 2,500億円	7月の米消費者物価指数
8/13 (木)	7月の企業物価指数(日銀 8:50) 営業毎旬報告(8月10日現在,日銀 10:00) 7月のフェイルの発生状況(日銀 16:30) 日本銀行が保有する国債の銘柄別残高(日銀 17:00頃)	国有林野借入 8/25借入 949億円	4-6月期の英GDP速報値
8/14 (金)		TDB3M物 流動性供給 8/17発行 8/17発行 37,000億円 2,500億円	4-6月期のユーロ圏GDP改定値 7月の米小売売上高

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/10 (月) 日銀予想	▲ 600	3,100	2,500	国債補完供給	500		500	3,000	TDB6M発行▲35,000 償還38,000 TDB3M発行▲37,000 償還44,000
8/11 (火) 弊社予想									
8/12 (水) 弊社予想	400	▲ 2,000	▲ 1,600				0	▲ 1,600	
8/13 (木) 弊社予想	▲ 300	▲ 3,000	▲ 3,300				0	▲ 3,300	10年物価連動発行▲2,500 源泉所得税揚げ
8/14 (金) 弊社予想	▲ 600	78,500	77,900				0	77,900	交付税特会借入▲12,000 期日13,000 年金定時払い

●短期金融市場の見通し

無担保コールON物は、引き続き付利以下の水準では資金調達ニーズが高く、0.977%近辺での出会いが予想される。債券レボ市場は、GC T/N物のレートは0.99～1.01%程度の水準で推移することが見込まれる。短国市場は、14日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、夏季休業に入る事業会社もあり、閑散なマーケットとなることが見込まれる。

来週の主要なイベントとして、国内では10日(月)に金融政策決定会合における主な意見(7月30・31日分)、7月の貸出・預金動向、6月の国際収支、12日(水)に7月のマネースtock、13日(木)に7月の企業物価指数、営業毎旬報告、日本銀行が保有する国債の銘柄別残高などが公表予定である。海外では12日(水)に7月の米消費者物価指数、13日(木)に4-6月期の英GDP速報値、14日(金)に4-6月期のユーロ圏GDP改定値、7月の米小売売上高などが公表予定である。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。